

活動報告

団体名	中央大学ボランティアセンター
活動名	子どもの遊び場づくりからはじめる西原村住民の方々の多世代交流の場づくり
活動期間	2017年7月～2018年3月
活動の成果	<p>7月からほぼ毎月のように現地に足を運ぶことができたため、現地の状況を把握することができ、またそれに伴い活動内容の修正も行うことができました。仮設住宅の状況は、私たちが行くたびにニーズを伺うのでは追い付かないほど、変化が早いと感じました。現地の方々に聞いた団地の状況や、それを変化させるニーズをそのまま受けとるのではなく、今後どのようになっていくか、学生は何かできるかを予測しながら活動計画をたてていかなければならないと思いました。</p> <p>私たちはできる限り、多世代を巻き込みながらのイベントを実施しようとしていましたが、高齢者と子どもたちが一緒に遊ぶということは、難しいと感じる場面が多くありました。ただ、同じ空間で多世代で過ごせる時間は持てたのではないかと思います。</p> <p>今後の課題としては、イベント時に独居の高齢男性の参加率が少ないことです。私たちが気にしているのは、一人暮らしでどこのコミュニティにも属さず、家に引きこもりがちになっている高齢男性の存在です。今後も、訪問活動でそういった方々とお話ができるよう努め、また高齢男性が参加したいと思えるようなイベントを開催していければと考えています。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>今回、皆様からの寄付により、熊本にて活動を行うことができましたことを、深く感謝しております。私たちは大学生であり、また東京から熊本へはどうしても航空機を使うこととなり、中々財政面で苦勞しています。現地の状況は日々変わり、私たちも現地のニーズに合わせて活動内容を修正していかなければなりません。そんな中、皆様からの寄付を使わせていただくことで、ほぼ毎月活動を行うことができました。改めて御礼申し上げます。</p>

(活動のようす)

